

新たな学校整備に向けた参考事例



令和7年10月
有田町 学校教育課

01

配慮すべき視点の整理

02

多様な活動を促す空間づくり

03

学校の核となるラーニングコモンズ

04

地域とつながる複合化

1

学習

- ・多様な学習活動を可能にする教育環境
- ・ICT教育環境の充実
- ・インクルーシブ教育システム構築のための環境

2

生活

- ・心身の健康を育む快適な環境
- ・衛生的な環境の確保

3

地域連携・協働

- ・地域と共に子どもを育む環境
- ・地域に開かれた学校施設

4

安全・安心

- ・災害に強い地域の拠点としての学校施設
- ・ユニバーサルデザインの推進

5

環境

- ・脱炭素社会に貢献する施設
- ・教育的効果高い木材の活用

5つの視点を総合的に検討

特色ある学校づくりのコンセプトを構築

有田町の中学校整備に反映

01 配慮すべき視点の整理

中学校の整備に向けて配慮すべき視点

◎ 今回のポイント

建物全体の規模感への影響が大きい要素を持つ事例について収集



複合化



図書室の配置



学習空間規模



階段広さ



耐震性

● 計画初期段階での検討の重要性

建物全体の規模感への影響が大きい要素は、計画段階で大まかな枠組みを決定する必要がある。一度決定した構造や形状は後から変更することが難しい。

● 設計の基盤となる要素

学校施設の耐久性、機能性、環境負荷など多くの基盤的要素に直結している。

規模感に影響を与える事例からイメージを具体化

- 多様な学習活動を可能にする教育環境
発表・表現ステージ 様々な創作活動の発表の場

目的

- ・多様な活動を促す空間を活用し、コミュニケーションを活性化
- ・交流や行動活動の場として、子供たちの主体性を育む

特徴・内容の概要

- ・中廊下型の設計を活用し、廊下の一部を多目的空間として利用
- ・さまざまな交流を促し学び場として活用 / 文化活動の成果を共有する場

良さ・効果

- ・学びや発表の場が教室の枠を超え、「空間」を生かした活動を実現
- ・自然なコミュニケーションや文化活動を生徒同士で展開
- ・多様性のある空間が生徒の発想力や創造性を育む

多様な活動を促す空間で自然なコミュニケーション

岡山県倉敷市倉敷高等学校



多様な学習活動を可能にする教育環境 教育環境向上 空間デザインの創意工夫

目的

- ・教育活動や生徒間の交流を促進する多目的スペースを活用
- ・効率的な施設の運営によって快適な学校生活環境を提供する

特徴・内容の概要

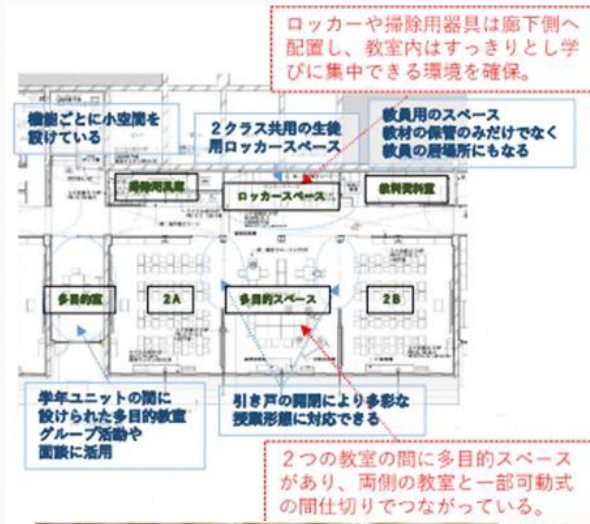
- ・2つの教室の間に多目的スペースを設ける
⇒授業のグループ活動や個別学習、交流の場として活用可能
- ・ロッカーや掃除用具置き場を廊下側に配置

良さ・効果

- ・グループ学習や交流機会を増加
- ・教室内でのスペース効率を向上 / 教室内での整理整頓がしやすい
- ・幅広い教育活動に対応可能な空間が整備

協調性やコミュニケーション能力を育成・学びの質が向上

岩手県陸前高田市立高田東中学校



◎ 境界をあいまいにした廊下と教室

過ごしたい場所を選べる 教室前の廊下にカウンターテーブル

目的

- ・廊下空間を活用して、児童が自主的に学び、集中できる環境を提供

特徴・内容の概要

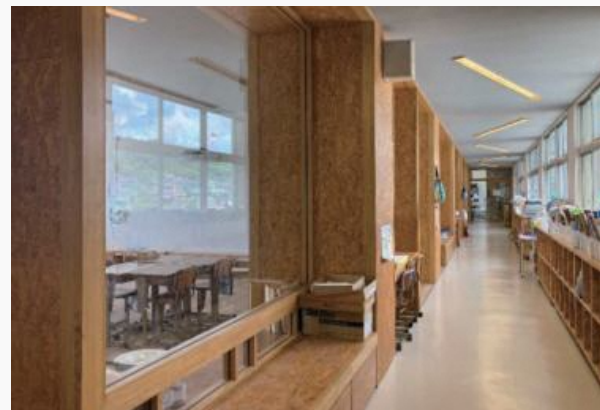
- ・柱と柱の間にカウンターテーブルやベンチを設置
- ・通常教室と廊下の間の仕切りを大きなガラス窓に改修

良さ・効果

- ・従来活用が限定的だった廊下を「学びの場」に改修することで、学校全体の空間効率を向上
- ・廊下に光を取り込み、明るい空間を作る

教室外でも学びを深められる学習環境の提供

広島県福山市立常石ともに学園



- ◎ 創意工夫して学習空間を計画
過ごしたい場所を選べる 教室前の廊下にカウンターテーブル

目的

- ・図書室を学校全体に開かれた情報センターとして機能させる
- ・能動的に学びを深められる空間を提供する

特徴・内容の概要

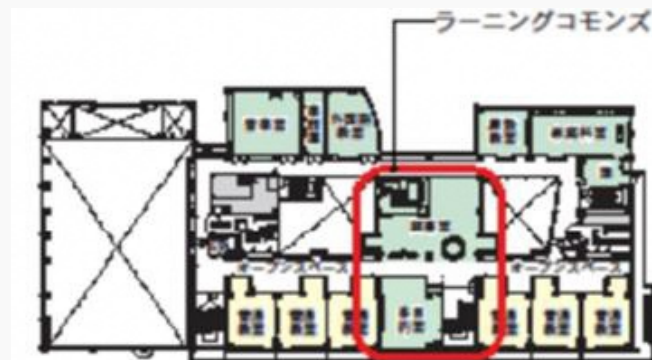
- ・どの教室からも利用しやすいよう、図書室を学校の中心に計画
- ・間仕切りの無いオープンな空間
- ・特別教室との連携が行いやすい

良さ・効果

- ・自由に立ち寄り、自主的に調べ学習や読書を行なう機会の増加
- ・どの教室からもアクセスしやすく、教育活動の延長
- ・畳コーナーや個別スペースがある⇒集中して学びに励む

図書室が学校の中心

若葉台小学校(東京都立川市)



- 入り口や動線設計における緩やかなコミュニケーション
柔軟な学び場と居心地よい読書空間の両立

目的

- ・生徒たちの日常動線である昇降口から入ってすぐの場所に図書室
- ・放課後にスクールバスを待つ際の場所として使用する

特徴・内容の概要

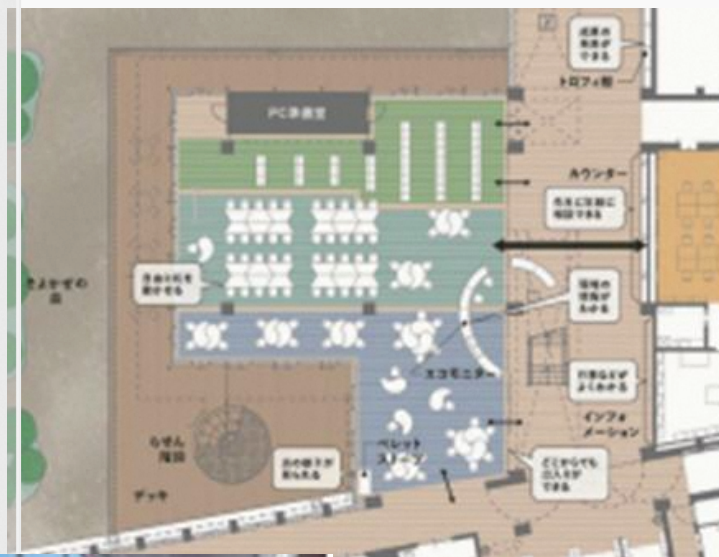
- ・スクールバスを待つ時間を有効活用できる居心地の良い空間
- ・読書や自習を行う場として使用されている
- ・グループでの学びや交流が可能な机や椅子の配置が工夫

良さ・効果

- ・生徒が気軽に利用できる位置に配置されたことで登校・下校、放課後において、自然と図書室を利用する機会を増やしている
- ・スクールバスの待ち時間を有意義な時間へ

気軽に利用できる図書室の配置

岐阜県瑞浪市瑞浪北中学校





地域とつながる学校設計

柔軟な学びの場と居心地よい読書空間の両立

目的

- ・児童生徒と地域住民が共有する場所として図書室を整備

特徴・内容の概要

- ・地域住民が本の貸し借りだけではなく勉強や仕事の場所として利用
- ・放課後に学びや読書に集中できる居心地の良い空間
- ・地域活動、交流活動にも使用できる多目的スペース

良さ・効果

- ・児童生徒と地域住民が自然な形で接する機会が増え、地域社会全体で教育を支える連携が構築
 - ・地域住民にとっても気軽に利用できる図書室は、地域全体の教育や情報アクセスの向上にも寄与している
- 地域住民との共有

北海道安平町立早来学園



● 複合化としての学校

学校と地域コミュニティの複合施設で、地域に根差した環境

滋賀県近江八幡市立桐原小学校

目的

- ・学校と地域との連携を促進する
- ・セキュリティ、管理区分を考慮の上で、地域にも開かれた施設

特徴・内容の概要

- ・地域住民の緊急時の安全確保にも寄与(防災拠点)
- ・災害時には避難施設として、通常時には地域イベントの拠点
- ・2階に生徒の教室を設け、安全面に考慮

良さ・効果

- ・安全で快適な避難所として地域住民に利用可能
- ・学校と地域住民の関係性を深める方向性
- ・2階建て構造で建物の強度と安全性を高める



防災拠点と地域住民との交流の場

